政令第 号

住宅融資保険の保険料の率を定める政令の一部を改正する政令

内閣は、住宅融資保険法（昭和三十年法律第六十三号）第二条第三号及び同法第五条第二項の規定により読み替えて適用される同条第一項の規定に基づき、この政令を制定する。

住宅融資保険の保険料の率を定める政令（昭和三十年政令第百三十二号）の一部を次のように改正する。
題名を次のように改める。

住宅融資保険法施行令

本則中「住宅融資保険法」及び「同法」を「法」に改め、本則を第三条とし、同条に見出しとして「（保険料率）」を付し、同条の前に次の二条を加える。

（資金の融通を業とする法人）

第一条 住宅融資保険法（以下「法」という。）第二条第三号の政令で定める法人は、貸金業の規制等に関する法律（昭和五十八年法律第三十二号）第二条第二項に規定する貸金業者である法人及び貸金業の規制等に関する法律施行令（昭和五十八年政令第百八十一号）第一条第四号に掲げる者である法人とする。

(附帯の債権)

第二条 法第五条第二項の規定により読み替えて適用される同条第一項の政令で定める附帯の債権は、保険金の支払の日(その日が保険事故の発生の日から三月を経過する日より後の日であるときは、当該経過する日)までの貸付金の利息とする。

附 則

この政令は、公布の日から施行する。

理由

住宅金融公庫が保険契約を締結することができる資金の融通を業とする法人及び債務保証特定保険関係において保険価額に含まれる附帯の債権を定める等の必要があるからである。